

**「葦波橋他耐震・補修工事」において、
 「見積りを活用する積算方式」と「難工事指定」を試行します**

記者発表資料

昨今、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいない理由により、入札のとりやめや不調となる工事が多発しています。

この理由の一つとして、標準的な積算と当該現場の見積り（実勢価格）に乖離が生じている場合が考えられることから、『見積りを活用する積算方式』を試行しています。

今回、千葉国道事務所では、「葦波橋他耐震・補修工事」において『見積りを活用する積算方式』と『難工事指定』を試行します。

『見積りを活用する積算方式』

本工事は、幅員が狭い橋梁部で現道上を規制しながらの工事であることから、施工に伴い作業効率が低下することが懸念されます。このため、入札参加者から見積りの提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映するものです。

見積りを求める工種は、過去の同種工事の実績により標準的な積算との剥離が予想される工種により選定しています。

『難工事指定』

本工事は、通常の工事と比較して施工条件が厳しく作業効率が悪い工事を一定以上の工事成績で完成させた場合に、「難工事施工実績評価対象工事（試行）」において、総合評価項目に「難工事施工実績あり」として加点対象とする「難工事指定」の試行対象工事とします。

なお、本工事においては、競争参加資格確認申請書と見積書の提出期限及び提出方法が異なります。詳細については入札公告・入札説明書に記載しております。

平成 21 年 2 月 18 日（水）

国土交通省 関東地方整備局 企画部 技術管理課・技術調査課
千葉国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 横浜海事記者クラブ 神奈川建設記者会
 千葉県政記者クラブ 千葉市政記者会

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局

技術管理課 建設専門官 あらい ただし 新井 正（電話048-600-1331）

技術調査課 課長補佐 あきこ かつ ひさ 浅古 勝久（電話048-600-1332）

} 見積もりを活用する
積算方式について

千葉国道事務所 電 話 0 4 3 - 2 8 7 - 0 3 1 1（代）

副 所 長 さいとう あつし 齋藤 厚（内線205）

管理第二課長 ながと ゆきお 長門 幸朗（内線441）

} 対象工事の内容につ
いて

《見積りを活用する積算方式の工事概要》 (蔵波橋他耐震・補修工事)

- (1) 工事名 : 蔵波橋他耐震・補修工事
- (2) 工事場所 : 千葉県市原市姉崎海岸～袖ヶ浦市長浦
- (3) 工期 : 契約の翌日から平成22年2月26日まで(予定)
- (4) 入札方式 : 一般競争入札 総合評価落札方式(簡易型)
- (5) 工事種別 : 維持修繕工事
- (6) 工事内容(概要) : 対象橋梁 2橋
国道16号:蔵波橋、境橋
橋脚補強(炭素繊維巻立て) 約135m²
縁端拡幅工 約75m²
塩害対策工 約16m²
仮設 1式
- (7) 見積りの提出を求める工種
・直接工事費のうち、舗装工、橋脚巻立て工、仮設工、橋梁付属物工
橋梁補修工に係わるもの。
・共通仮設費のうち、運搬費(質量20t以上の建設機械の日々回送費)
- (8) 見積の提出を求める理由
本工事は、国道16号の市原市姉崎海岸から袖ヶ浦市長浦までの2橋梁の耐震補強と橋梁補修を行う工事です。
施工にあたっては、現道上を交通規制し車道・歩道利用者への影響をできるだけ軽減しながらの施工が必要であり、また規模の小さい現場が点在することから作業効率の低下に伴い、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、「見積りを活用する積算方式」を試行するものです。
- (9) 総合評価
・標準点: 100点 最低限の要求条件
・加算点: 10点 企業の技術力・信頼性社会性の評価項目毎に評価した「評価点の合計値」が最も高い者を10点とし、他の者は「評価点の合計値」に応じ案分して加算点を与えます。
- (10) スケジュール
入札公告: 平成21年2月18日
入札日: 平成21年3月17日
- (11) その他
本工事は、競争参加資格確認申請書と見積書の提出期限及び提出方法が異なります。詳細については、入札公告及び入札説明書に記載しております。